

# 取り付け・配線の前に 作業の順序

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(P.2)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

## お願い

- カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、結束バンドや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(P.31)
- 各種アンテナ(ラジオ、GPS)、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けないでください。
- コードは、ナビゲーションの各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)とは別々に配線してください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、ナビゲーションの映像・音声にノイズが入る原因となります。

# 作業の順序

## 1 バッテリーの⊖端子を外す



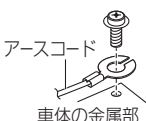
## 2 ドライブレコーダー本体の取付位置の見当を付け、上下角度・前後位置を調整する (P.20)

## 3 各種コード/ケーブルを接続する(仮接続) (P.24)

- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

### お願い

- 必ずアースコードを最初に接続してください。
- ショート事故防止のため、電源コネクターへの接続は、必ず他の配線を済ませてから最後に行ってください。



## 4 仮止めする (P.21)

## 5 ドライブレコーダー本体を貼り付ける (P.22)

## 6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

### お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

## 7 車のエンジンをかけ、取り付け後の確認と調整をする (P.25)

※作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

# 取り付け位置について

## ■ 性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

- 検査標章などと重なったり、映らないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内に映るように取り付けてください。雨天などのとき、鮮明に録画できない場合があります。
- フロントガラスの着色部分(セラミックラインなど)が映らないように取り付けてください。
- 本機のLEDランプが確認でき、microSDメモリーカードが出し入れできる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合や、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## ■ 国土交通省の定める保安基準\*1に適合させるため、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に取り付けてください。

\*1 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

取付許容範囲

- フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内

フロントガラス

① ドライブレコーダー本体

5 mm以上離す

側面図

着色部分(セラミックラインなど)

検査標章

ワイパーの可動範囲

下記の条件を満たす位置に取り付けてください。

- 取付許容範囲内(上記)
- 前方視界や運転を妨げない位置
- フロントガラス内側のルームミラー裏側付近
- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置

配線する側のピラーのカバーを取り外す(配線後、もとに戻してください)

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 車両装備品の動作を妨げないように、取り付けや配線をしてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取付と配線

取り付け・配線の前に 作業の順序 取り付け位置について

# 上下角度と前後位置を調整する

**1** ドライブレコーダー本体のロックを解除する

- 1.ねじを取り外す
- 2.カメラロックレバーを矢印の方向に倒す
- 3.カメラロックレバーを押し込む

**2** 取付位置の見当を付け、フロントガラスにドライブレコーダー本体をあてがい、大まかな上下角度と前後位置を調整する

- 裏紙はまだはがさないでください。
- カメラロックレバーは、引っぱったり、無理な力を加えたりしないでください。

調整のしかた

カメラロックレバーを押し込んだまま

位置・角度を調整する

- 1.上下角度を調整する
- 2.前後位置を調整する
- 3.カメラロックレバーを戻す

カメラロックレバーを押し込んでいた指を離す

- カメラロックレバーがバネの力で元の位置まで押し出されます。

下に倒す

調整範囲：20°～70° (5°刻み)

●4段階で調整できます。

## ■ 上下角度と前後位置のめやす

ドライブレコーダー本体が地面と水平になるようにフロントガラスに取り付けたときの上下角度(A)に対して、前後位置を下表のとおり調整してください。

上下角度(A)	前後位置
65°～70°	①
55°～60°	②
45°～50°	③
20°～40°	④

**3** ねじを締めて、ロックする

- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

# 仮止めする

**1** 本機とナビゲーションを仮接続する (配線のしかた→P.24)

**2** ドライブレコーダー本体を市販のテーブなどで仮止めする

- 裏紙はまだはがさないでください。

市販のテーブ

①ドライブレコーダー本体

**3** バッテリーの⊖端子をもとに戻し、車のエンジンをかける (ACC ON)

**4** ドライブレコーダー画面 (P.12) から **カメラモニター** を選ぶ

- 本機のカメラの映像が表示されます。
- カメラの映像が表示されない場合は、拡張ユニット情報画面からドライブレコーダーの接続状態を確認してください。(P.25)

**5** 映像を見ながら、ドライブレコーダー本体の貼付位置・上下角度・前後位置を微調整する (調整のしかた→P.20)

- 前方および車のボンネットの両端が映るように微調整してください。
- 微調整しても映像が適切な角度にならない場合は、手順2に戻り、仮止めからやり直してください。

ボンネットの両端

ダッシュボード

ボンネット

**6** ドライブレコーダー本体の貼付位置に市販のテーブなどで印をつける

ドライブレコーダー本体の貼付位置

市販のテーブ

**7** 車のエンジンを切り (ACC OFF)、バッテリーの⊖端子を外す

取付と配線

上下角度と前後位置を調整する / 仮止めする

# ドライブレコーダー本体を貼り付ける

## 貼り付ける前に

- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、指定の位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
  - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
  - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
  - ・貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
  - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

### 1 コードホルダーをコードに取り付ける

- コードホルダーが長い場合は、適切な長さに切断して使用してください。

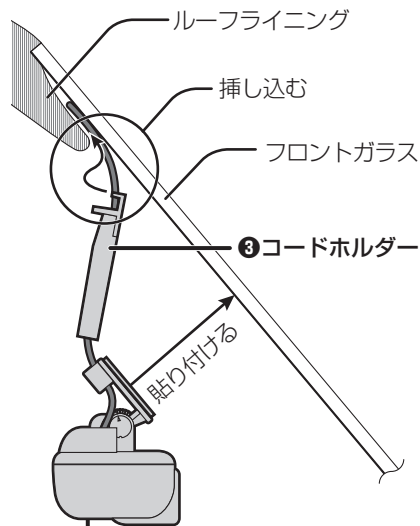


### 2 ドライブレコーダー本体の裏紙をはがす

- 粘着テープの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。

①ドライブレコーダー本体

### 3 コードホルダーをルーファイニングの端に挿し込む



### 4 ドライブレコーダー本体をフロントガラスにしっかりと貼り付ける。

- しっかりと定着させるため、本機をフロントガラスに十分に押しつけてください。
- 押しつける際、本体部を押さずに、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。
- 貼り付けたあと、位置決めに使用した市販のテープをはがしてください。

①ドライブレコーダー本体

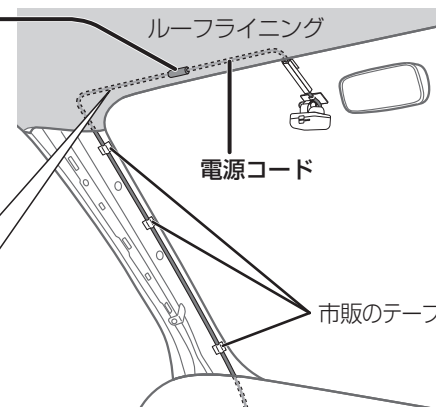
### 5 コードを引き回す

- 必要に応じて付属の結束バンドや市販のテープなどでコードを固定してください。
- 他のコード類が配線されている場合はできるだけ離し、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。

### ④ウレタンテープ

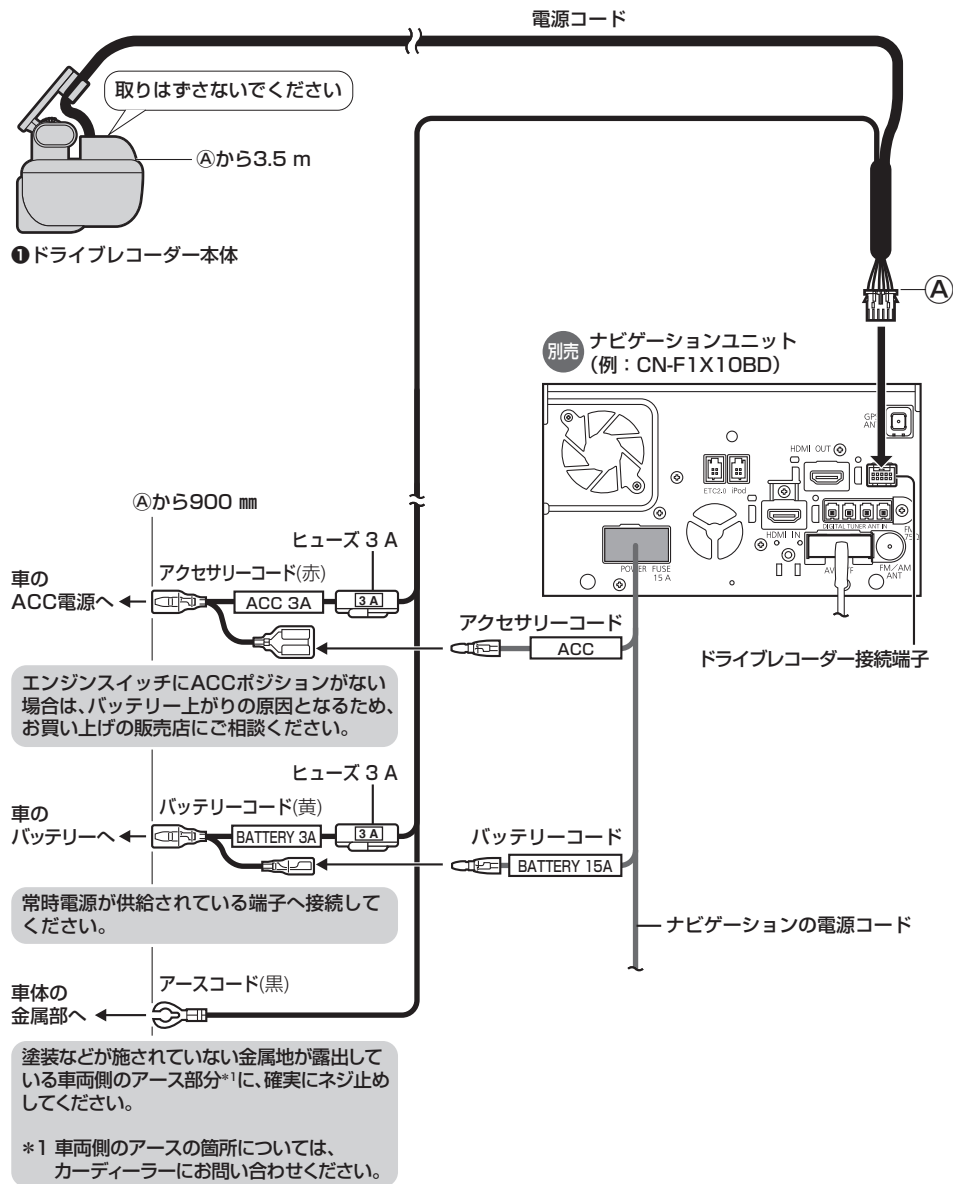
ルーファイニングに押し込んでもコードが外に出る場合は、コードにウレタンテープを巻き付けて、ルーファイニングから出ないようにしてください。

- ✕ 電源コードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーファイニングの端から無理に押し込んだりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。



### 6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

# 配線のしかた



# 取り付け後の確認と調整

## カメラの取り付けを確認する

- 1 情報メニュー(P.12)から  
拡張ユニット情報を選ぶ



- 2 拡張ユニット情報画面から  
ドライブレコーダーがON表示に  
なっていることを確認する



- ドライブレコーダーがON表示にならない場合は、取付・配線を確認してください。

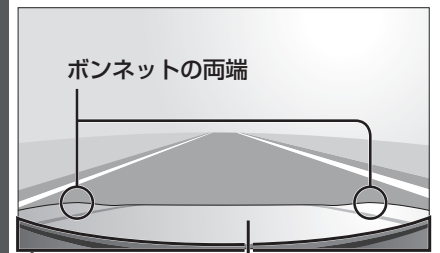
## カメラの映像を確認する

- 1 ドライブレコーダー画面(P.12)から  
カメラモニターを選ぶ



- 本機のカメラの映像が表示されます。

- 2 映像が正しく映し出されていることを確認する



- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 取り付け後の確認と調整

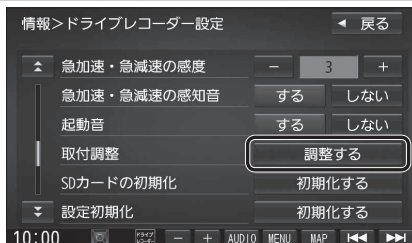
## 加速度センサーを最適化する

取り付け後、初めてお使いになる前や、本機の角度を変更した場合は、下記の手順で本機の加速度センサーを最適化してください。

加速度センサーが最適化されないまま使用すると、本機の加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われぬおそれがあります。

### 1 平らな場所に停車する

### 2 ドライブレコーダー設定画面(P.12)から、**調整する**を選ぶ



### 3 **調整する**を選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない(ACC OFFにしない)でください。

ドライブレコーダーの取付調整を行います。  
正しく取り付けした後、平らな場所に停車している状態で「調整する」を押してください。

調整する

やめる

### 4 メッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ

取付調整を完了しました。

OK

### 5 現在地画面を表示させ、本機の動作状態が「常時録画中」であることを確認する (P.14)

## ドライブレコーダーステッカーを貼り付ける

取付後の確認と調整が終わったら、車両後部に付属のドライブレコーダーステッカーを貼り付けてください。

### 貼り付ける前に

- 貼り付ける前に貼付面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。(貼りなおしできません)
  - ・貼付面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。はがれの原因となります。
  - ・貼り付け直後は粘着力が弱いため、必ず24時間以上、放置してください。
  - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- ドライブレコーダーステッカーの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- リアガラスに貼り付ける場合は、ワイパーの可動範囲外に貼り付けてください。



貼付例